

旧北沢小学校後利用に関する説明会

日 時：令和元年6月27日（木）19時00分～20時00分

会 場：北沢中学校第2校舎 家庭科室

次 第

- 1 池之上小学校の耐震再診断結果について 【資料1～3】
- 2 旧北沢小学校後利用の取組みの今後の対応について 【資料4】
- 3 質疑応答

<配布資料>

資料1：「学校等の耐震再診断の確定値を踏まえた対応について」

（令和元年5月28日常任委員会報告資料）

資料2：池之上小学校配置図

資料3：池之上小学校周辺図

資料4：「池之上小学校の耐震再診断結果を踏まえた旧北沢小学校の後利用について」

（令和元年5月28日常任委員会報告資料）

令和元年 5 月 28 日
教 育 環 境 課

学校等の耐震再診断の確定値を踏まえた対応について

1 主旨

現在、区施設の安全性を確保するため、耐震性能の再診断を実施している。この再診断は 31 施設で行っているが、第 1 クール分 14 校、第 2 クール分 10 校の確定値は既に情報提供しているところである。今回は、この対象施設の内、第 3 クール分 4 校（校舎棟 4 校）及び 3 施設について、再診断における「確定値」が報告されたことから、改めてこれまでの全ての確定値の状況と今後の対応について報告する。

2 Is 値の状況について（別紙資料）

（1）第 1 クール確定値 校舎棟、体育館棟（屋上塔屋を除く）

ア 校舎棟（屋上塔屋を除く）

- ① 0.6 以上・・・・・・・・4 校（小学校 2 校、中学校 2 校）
- ② 0.3 以上 0.6 未満・9 校（小学校 4 校、中学校 5 校）
- ③ 0.3 未満・・・・・・・・0 校

イ 体育館棟

- ① 0.6 以上・・・・・・・・3 校（小学校 1 校、中学校 2 校）
- ② 0.3 以上 0.6 未満・7 校（小学校 3 校、中学校 4 校）
- ③ 0.3 未満・・・・・・・・4 校（小学校 2 校、中学校 2 校）

（2）第 2 クール確定値 校舎棟（屋上塔屋を除く）

- ① 0.6 以上・・・・・・・・0 校（小学校 0 校、中学校 0 校）
- ② 0.3 以上 0.6 未満・7 校（小学校 6 校、中学校 1 校）
- ③ 0.3 未満・・・・・・・・3 校（小学校 3 校、中学校 0 校）

（3）第 3 クール確定値 校舎棟（屋上塔屋を除く）及び 3 施設

- ① 0.6 以上・・・・・・・・1 施設
- ② 0.3 以上 0.6 未満・3 校（中学校 3 校）及び 2 施設
- ③ 0.3 未満・・・・・・・・0 校
- ④ 評定書取得不可・・・・・・・・1 校（中学校 1 校）

3 対応方針について

（1）基本方針

Is 値が 0.3 以上 0.6 未満の各棟（施設）については、速やかに耐震補強の設計を進める。補強工事期間について、各施設運営に支障をきたさないよう令和 2 年度を中心に行う予定である。

また、Is 値が 0.6 以上の棟（施設）については、今後、大規模改修など他の工事を行うこととなったタイミングに合わせて補強工事を行うこととする。

(2) Is 値が 0.3 を下回る施設への対応

①体育館棟の対応について

体育館棟では Is 値が 0.3 を下回る施設が 4 校あった。速報値の段階で、専門家や診断業者に数値が低くなった理由や危険性について確認を行い、その結果、緊急対応を実施した上で、使用を制限する必要はないと判断している。

なお、速報値により、今回の 4 校を含む 7 校で 0.3 を下回ったことから避難訓練の徹底や、緊急対応として柱と屋根の接合部からの破片等の落下防止策を実施している。引き続き 7 校については、工事開始までこの対策を継続していく。

②校舎棟の対応について

校舎棟では、耐震性能を示す Is 値の速報値の段階で部分的に 0.3 を下回る箇所が判明した 1 校（若林小学校）、速報値、確定値ともに 0.3 を下回る結果となった 1 校（池之上小学校）、確定値において 0.3 を下回る結果となった 2 校（池尻小学校、三軒茶屋小学校）及び、耐震診断の調査の段階で老朽化もあり、第三者機関による評価が取得できなかった 1 校（八幡中学校）について、今回の診断結果に基づき、今後の対応方針を下記の通り取りまとめた。

ア 若林小学校については、本年、春休み期間中において、緊急対応の工事を実施し、耐震性能を向上させる工事は既に終了している。本年 7 月には新校舎に移転し、現在の校舎は解体する。

イ 池之上小学校については、本年 3 月からの土曜日、日曜日と引き続き春休み期間中において、緊急対応の工事を実施し、耐震性能を向上させる工事は既に終了している。耐震診断の評価書等を踏まえ速やかに改築を行う。なお、令和 2 年 4 月を目途に、仮校舎として北沢中学校第 2 校舎等を活用することとする。

ウ 池尻小学校及び三軒茶屋小学校については、迅速に個別の緊急対応を実施するため、耐震診断事業者と協議を進めており、本年の夏休み期間中には緊急対応として耐震性能を向上させる工事を終了させる予定である。

エ 八幡中学校については、第三者機関による評価が取得できなかった棟を使用中止とするため、教室を移動させるとともに、今後、当該棟については棟別改築を行う。

【参考１】※地震の規模は、震度６以上を想定している

- ・ I s 値が 0.6 以上・・・地震によって倒壊又は崩壊する危険性が低い。
- ・ I s 値が 0.3 以上
0.6 未満・・・地震によって倒壊又は崩壊する危険性がある。
- ・ I s 値が 0.3 未満・・・地震によって倒壊又は崩壊する危険性が高い。

【参考２】

第１クール（１４校）

代田小、東玉川小、九品仏小、喜多見小、武蔵丘小、千歳台小、駒留中、富士中、瀬田中、尾山台中、千歳中、上祖師谷中、砧南中、喜多見中

第２クール（１０校）

若林小、旭小、池之上小、経堂小、弦巻小、中丸小、三軒茶屋小、池尻小、笹原小、用賀中

第３クール（４校＋３施設）

太子堂中、緑丘中、八幡中、三宿中、河口湖林間学園、ものづくり学校（旧池尻中）、職員研修会場・事務室（旧厚生会館）

■耐震再診断対象校(第1クール)(体育館棟14校) 診断結果一覧

※Is値は各校舎の最低値を記載(屋上塔屋を除く)

学校番号	学校	診断校舎 (竣工年度)		Is値	学校番号	学校	診断校舎 (竣工年度)		Is値
24	代田小学校 代田4-2-3	③~1.2棟 (S48,49)	校舎棟	0.553	108	駒留中学校 下馬4-18-1	①~1.2棟 (S49,50)	校舎棟 (一部保育園)	0.617
		⑤棟 (S47)	校舎棟	0.723			③棟 (S50)	校舎棟	0.920
		⑥棟 (S40)	体育館棟	0.44			⑬棟 (S55)	体育館棟	1.121
40	東玉川小学校 奥沢1-1-1	⑪~1.2棟 (S49,50)	校舎棟	0.55	112	富士中学校 代沢1-23-17	①~1.2棟 (S53)	体育館棟	0.324
		⑬~1.2棟 (S50,53)	校舎棟	0.47			⑤~1.2,3,4棟 (S39,S40,S45,S50)	校舎棟	0.424
		④棟 (S43)	体育館棟	0.09			〇23棟 (S50)	校舎棟	0.584
42	九品仏小学校 奥沢8-12-1	①棟 (S47)	校舎棟	0.41	119	瀬田中学校 瀬田2-17-1	④棟 (S49)	体育館棟	0.93 (CTU・SD値: 0.29)
		②棟 (S46)	校舎棟	0.61	121	尾山台中学校 尾山台3-27-23	②棟 (S48)	校舎棟	0.54
		③~1.2棟 (S46)	体育館棟	0.22			⑭~1.3棟 (S46,48)	校舎棟	0.51
61	喜多見小学校 喜多見3-11-1	①~1棟 (S47)	校舎棟	0.38					③~1.2棟 (S54)
		②棟 (S47)	体育館棟	0.41	⑱~1.2棟 (S47,S48)	校舎棟			0.54
62	武蔵丘小学校 北烏山1-47-11	①棟 (S47)	校舎棟	0.69	126	千歳中学校 千歳台6-15-1	⑲棟 (S47)	校舎棟	0.47
		②棟 (S47)	体育館棟	0.75 (CTU・SD値: 0.25)			⑳~1.2棟 (S49,S54)	校舎棟	0.46
64	千歳台小学校 千歳台4-24-1	⑩棟 (S54)	校舎棟	0.64			〇27棟 (S53)	校舎棟	0.72
		③棟 (S54,S55)	体育館棟	0.55			①棟 (S54)	体育館棟	0.40
					129	上祖師谷中学校 上祖師谷7-10-1	①~1.2棟 (S51,S55,S63)	校舎棟	0.44
							②棟 (S51)	体育館棟	0.39
					130	砦南中学校 鎌田3-13-20	①~1.2,3棟 (S51,S55,S55)	校舎棟 (一部保育園)	0.61
							②~1.2棟 (S50,S55)	校舎棟	0.62
							③棟 (S50)	体育館棟	0.19
					131	喜多見中学校 喜多見4-20-1	①棟 (S54)	校舎棟	0.85
							⑪棟、②~1.2棟 (S54,S54)	校舎棟(給食室含)	0.50
							③棟 (S54)	体育館棟	0.11

■耐震診断再調査対象校(第2クール)(校舎棟10校) 診断結果一覧

※Is値は各校舎の最低値を記載(屋上塔屋を除く)

学校番号	学校	診断校舎 (建設年)		Is値	学校番号	学校	診断校舎 (建設年)		Is値
1	若林小学校 若林5-38-1 新校舎 令和元年6月竣工予定	①~1.2,6棟 (S40,41,46)	校舎棟	0.52	23	中丸小学校 野沢3-34-16	⑪~1.2棟 (S47,48)	校舎棟	0.464
		⑯~1.2,3棟 (S43,44)	校舎棟	0.46			⑫~1.2棟 (S48,49)	校舎棟	0.80
13	旭小学校 野沢1-4-3	④~1.2棟 (S42,43)	校舎棟	0.385	25	三軒茶屋小学校 三軒茶屋2-42-1	⑭~1.2棟 (S49,50)	校舎棟	0.623
		⑮~1.2,3棟 (S43,47,48)	校舎棟	0.74			②~1.2,3棟 (S44,45,46)	校舎棟	0.24
		①棟 (S49)	校舎棟	0.718			⑰棟 (S50)	校舎棟	0.63
19	池之上小学校 代沢2-42-9	③~1.2,3,4棟 (S42,43,44,48)	校舎棟	0.22	28	池尻小学校 池尻2-4-10	①棟 (S51)	校舎棟	0.63
		⑭棟 (S48)	校舎棟	0.22			⑱棟 (S50)	校舎棟	0.29
20	経堂小学校 桜上水1-23-3	③~1.2,4棟 (S41,44,45)	校舎棟	0.59	29	笹原小学校 桜丘5-19-1	①棟 (S49)	校舎棟	0.55
		⑯棟 (S47)	校舎棟	0.603			②~1.2棟 (S49,50)	校舎棟	0.81
		⑰棟 (S44)	校舎棟	0.55			⑤棟 (S45)	校舎棟	0.54
		④~1.2棟 (S46,47)	校舎棟	0.52	122	用賀中学校 上用賀5-15-1	②棟 (S50)	校舎棟	0.55
21	弦巻小学校 弦巻1-9-18	④~1.2,3棟 (S44,46,48)	校舎棟	0.56			⑮棟 (S49)	校舎棟	0.45
		⑭棟 (S48)	校舎棟	0.59			○23棟 (S56)	校舎棟 (一部保育園)	0.79
		⑯棟 (S52)	校舎棟	1.92					

※()内の数値は、下階壁抜け柱による再評価を行った後の数値

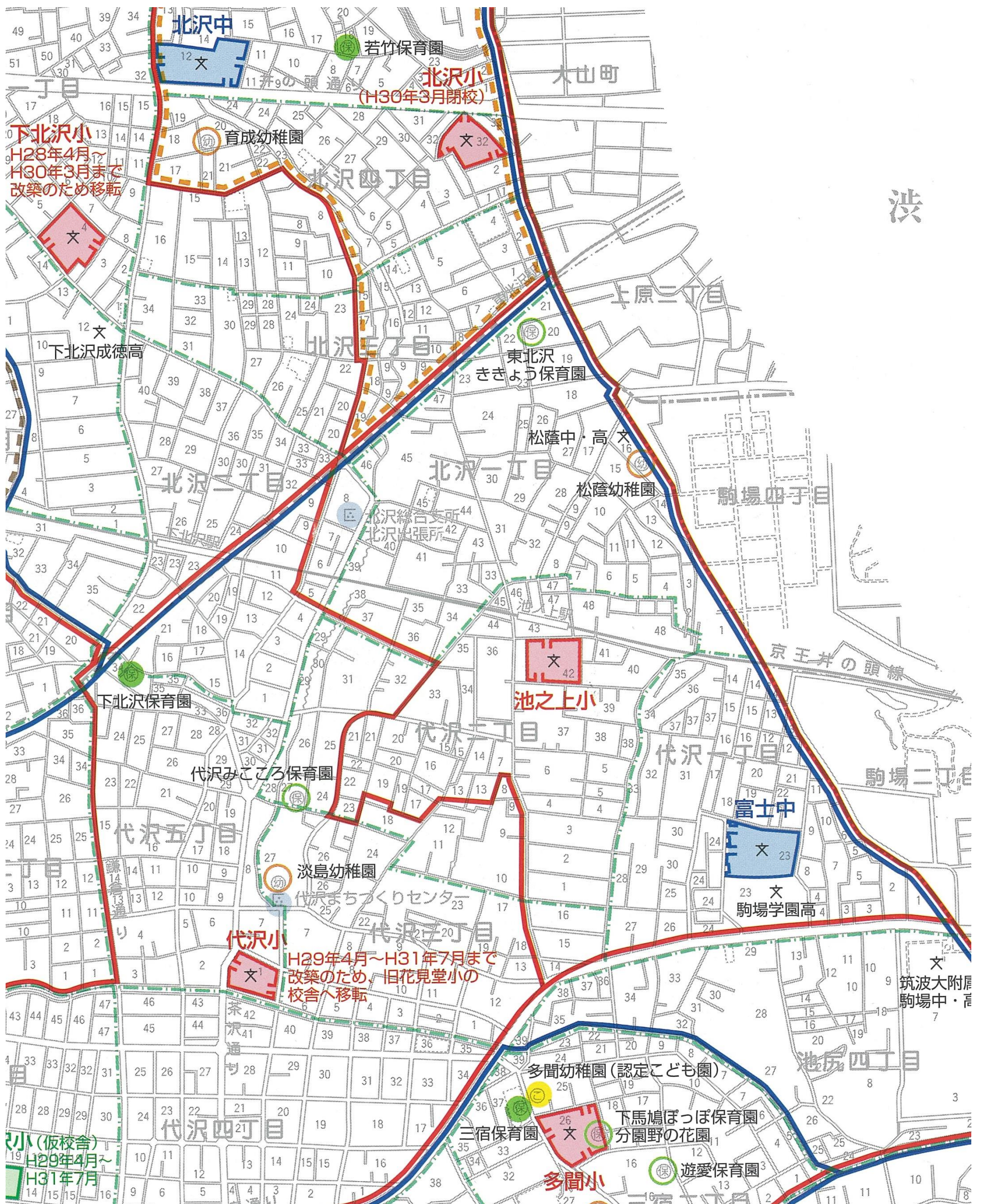
※は、区の基準(Is値:0.75)を上回る棟

Ctu・Sd値は、建物がある程度の強度を保持することが必要との考え方から、下限値0.3以上が求められる。
今回の診断では、Is値が0.6以上でも、Ctu・Sd値が0.3未満だった場合には、耐震補強が必要であるとしている。

■耐震診断再調査対象校(第3クール)(校舎棟4校、3施設) 診断結果一覧

※Is値は各校舎の最低値を記載(屋上塔屋を除く)

学校番号	学校	診断校舎 (建設年)		Is値
102	太子堂中学校 太子堂3-27-17	④~1.2,3,5棟 (S39,40,46,49)	校舎棟	0.394
107	緑丘中学校 桜上水3-19-12	⑤~1.2棟 (S43,48)	校舎棟	0.610
		21棟 (S50)	校舎棟	0.571
117	八幡中学校 等々力6-4-1	22棟 (S43)	校舎棟	0.840
		⑤~1.2棟 (S38,47)	校舎棟	-
		26棟 (S51)	校舎棟	0.86
133	三宿中学校 太子堂1-3-43	27~1.2棟 (S51,58)	校舎棟	0.53
		①~1.2,3,4棟 (S39,40,46)	校舎棟	0.37
	河口湖林間学園	宿泊棟 (S41)		0.638
		食堂棟 (S41)		1.00
	ものづくり学校 (旧池尻中学校)	A棟		0.50
		B棟		0.48
	職員研修会場・事務室 (旧厚生会館)			0.39



令和元年5月28日
北沢総合支所
政策経営部
障害福祉部
子ども・若者部
教育委員会事務局

池之上小学校の耐震再診断結果を踏まえた旧北沢小学校の後利用について

1. 主旨

平成30年3月に策定した「北沢小学校後利用方針」に基づき、旧北沢小学校の施設については、後利用の取組みとして、北沢中学校の第2校舎・第2体育館・第2校庭等（以下「第2校舎等」という。）として当面の間（5年程度）活用することとし、学校活動等を行うことで、学び舎の魅力向上を図るとともに、避難所機能や地域コミュニティの核としての機能、子どもの居場所としての機能を維持しているところである。

一方、区では区施設の耐震性能の再確認のため、現在学校施設等31施設において、順次耐震再診断を実施している。この度池之上小学校について、耐震診断の評定書等を踏まえ速やかに改築を行うこととし、周囲の環境等も踏まえて整備手法等の検討を重ね、令和2年4月を目途に、改築時の仮校舎として北沢中学校の第2校舎等を活用することとした。

北沢中学校の第2校舎等では、教育活動等を行うとともに、空き教室等を活用して様々な取組みを行っており、池之上小学校改築時の仮校舎としての活用を踏まえ、これらの取組みについて、以下のとおり対応する。

2. 北沢中学校の第2校舎等における取組みの状況

北沢中学校の第2校舎等では、教育活動等を行うとともに、地域の避難所としての機能を維持している。また、空き教室等を活用し、地域からの意見等を踏まえ、以下のとおり様々な取組みを行っている。

（1）地域利用の取組み

北沢中学校の教育活動等での使用に支障がない利用を基本とした上で、旧北沢小学校及び下北沢小学校に関係する地域活動団体や地域スポーツ団体などの活動の継続を図るため、学校等と協議しながら、学校施設の地域利用の取組みを行っている。

（2）北沢子どもの居場所支援事業（きたっこ）

子どもたちに健全なあそび体験を提供し心身の発達と自立を支援する場として、代田児童館の出張事業である「北沢子どもの居場所支援事業(きたっこ)」を実施している。

（3）みつけばルームの出張プログラム

発達に凸凹のある若者が様々なワークショップを通じて生きるヒントになる「ナニか」を見つける場所として、国立成育医療研究センターの敷地内において実施している居場所事業「みつけばルーム」の出張プログラムを月1回程度実施している。

（4）青少年交流センター池之上青少年会館の改修工事に伴う休館中に出張事業

青少年交流センター池之上青少年会館が改修工事に伴い休館するため（令和元年8月～令和2年3月中旬まで）、休館中に中学生以上（主に中高生）を対象に、通常より大幅に規模を縮小した出張型居場所事業を実施予定。

(5) その他

ひとり親世帯等の小中学生を対象とした無料学習会「かるがもスタディールーム」(月2回程度)の実施場所として空き教室を活用している。

3. 旧北沢小学校後利用の当面の間(5年程度)の取組みの今後の対応

取組み	対応
北沢中学校の第2校舎等における教育活動等	令和2年4月を目途に、北沢中学校第2校舎等としての位置づけを解消し、池之上小学校改築時の仮校舎として活用する。現在第2校舎等で行われている教育活動等について、北沢中学校本校舎のみでの運営に変更する。
避難所機能	令和2年4月以降も災害時の避難所機能を維持する。
地域利用の取組み	令和2年4月以降の取組みの継続に向け、池之上小学校の関係団体も含め、必要な調整を進める。
北沢子どもの居場所支援事業(きたっこ)	令和2年2月下旬まで北沢中学校の第2校舎等で取組みを実施する。3月以降について、北沢地区会館での事業継続に向け、調整を進める。
みつけばルームの出張プログラム	令和元年9月まで北沢中学校の第2校舎等で取組みを実施する。10月以降について、北沢地域の区民集会施設等での事業継続に向け、調整を進める。
青少年交流センター池之上青少年会館の改修工事に伴う休館中に出張事業	令和元年8月上旬から令和2年2月下旬(予定)の期間内において、出張型居場所事業を実施する。
かるがもスタディールーム	令和元年9月まで北沢中学校の第2校舎等で取組みを実施する。10月以降について、北沢地域の区民集会施設等での事業継続に向け、調整を進める。

4. 今後の旧北沢小学校後利用の進め方

当面の間、池之上小学校の改築時の仮校舎としての活用を図る。その後の利用方法等については、行政需要や財政状況、地域住民の意見等を踏まえ、引き続き検討する。

5. 今後のスケジュール(予定)

令和元年	5月下旬～	保護者・地域等への周知
	6月下旬	地域への説明会の実施

周辺図

